

議員説明会 会議録

1 開催日時

令和7年5月8日（木曜日） 午前10時00分 ～ 午前10時25分

2 件名

上町商店街振興組合所有のアーケード点検調査への支援について

3 議事録

（岩間総合政策部長）

ただいまから、議員説明会を開催いたします。

本日の案件につきまして、上町商店街振興組合所有のアーケード点検調査への支援について商工労政課から説明をさせていただきます。

伊藤商工観光部長

（伊藤商工観光部長）

おはようございます。

商工観光部長の伊藤でございます。

「上町商店街振興組合所有のアーケード点検調査への支援」についてご説明いたします。

本件につきましては、「花巻市上町商店街振興組合」以下、「組合」と申し上げます。その組合が所有するアーケードについて、同組合が実施する点検調査に対し、市が補助金により支援しようとするものであり、市民をはじめとするアーケード部分を通行する歩道利用者の安全・安心に資するため、令和7年第2回市議会定例会の前に臨時市議会を開催させていただき、補正予算として提出させていただくことも視野にいれており、事前にご説明させていただくものです。

事前にお配りしております資料をご覧ください。

「1 経緯」でございますが、組合所有アーケードにつきましては、昨年、建物側に建っております支柱の下部が腐食し、穴が開いている箇所が複数見られたことから、組合による応急修繕が実施されましたが、その際、組合の財政状況を鑑みて市の支援の必要性があると判断し、令和6年第2回市議会定例会において、「商店街共同施設補修事業補助金」の増額をお認めいただき、市が支援を行いながら、同年8月30日までに支柱全50本の応急修繕が行われました。

その際、市から組合に対しましては「今回の修繕はあくまでも応急修繕であり、応急修繕実施後にはアーケードの点検調査を実施し、今後の方向性を検討する必要があること」を確認していたものであります。

令和6年度の応急修繕につきましては、《令和6年度補助内容》記載のとおり、支柱全50本について、支柱下部のサビ落とし、金属板で柱の周囲を覆い溶接した後、支柱内部にコンクリートを流し込み、再塗装したもので、事業費1,129万7千円に対し、市では

5分の4・8割の補助となる903万7千円を交付し、組合は226万円を負担したものです。

修繕前、修繕後の状況は掲載した工事写真のとおりであります。

応急修繕実施後も市と組合とで継続的に話し合いを行っておりまして、アーケードの構造点検を行うことができる専門業者に現地を確認いただいたところ、目視の範囲内ではありますが「通常の利用で倒壊する恐れはない」とのことでありましたが、「アーケードの老朽化は進んでおり、これまで組合による点検が行われていなかったことから、早めに点検調査を実施した方が良い」とのご意見をいただいたところであります。

当該業者より組合に対し、本年4月18日に見積書の提出とあわせ、早期に点検調査することにより、お盆前には簡易レポートが提出されるスケジュールが示されているものであります。

2ページをお開き願います。

「2 上町アーケードの概要」でございますが、所有者・管理者は「花巻市上町商店街振興組合」でございます。構造は「鉄骨造り平屋建て」、設置時期は「平成10年度」でございますので、設置後27年が経過しております。

車道両側に設置されており、延べ延長及び設置幅員は記載のとおりであり、構造部最高部分の高さは「8.45メートル」となっております。

「3 組合に対する支援」であります。また、「商店街共同施設補修事業補助金」により、組合が行うアーケード点検調査に支援しようとするものです。

調査の内容でございますが、柱の厚みや接合部の確認調査や3Dスキャナーによる測量などの実施調査結果をもとに構造計算を行い、構造上の強度などを診断する「①劣化調査・診断及び耐震診断判定」、①を実施するために必要な図面の作成を行う「②データ図面化」、③では、これらの調査結果を基に事業者が評価した内容を、国土交通大臣指定の第三者構造判定機関の判定を経て最終報告書の作成となっております。

組合が実施するこれらに要する費用として、2,261万6千円が見込まれており、市では当該費用の10分の9を補助することとし、2,035万4千円を補正予算としてご提案したいと考えております。

なお、この場合の組合負担額は226万2千円となります。

また、これら点検調査の実施内容や実施方法を検討するため、これまで現地での踏査を行った際、道路管理者である市建設部から「店舗名を表示している吊り下げ看板の揺れに対する懸念」が指摘されていることから、組合では吊り下げ看板全32か所の撤去を検討しており、今後、早期の撤去が必要と判断された場合には、アーケード全般の改修または撤去の方向性を決める前に令和7年度当初予算で計上している通常分の「商店街共同施設補修事業補助金」を活用し撤去を行うと伺っております。

3ページをお開き願います。

「4 市がアーケード点検調査に9割補助を行う理由」でございますが、組合のアーケ

ード修繕管理費の積立額は約430万円にとどまり、アーケードの点検調査を実施し、その結果に基づき改修または解体などを行うために必要な積立額が十分でない状況にあります。

参考までに組合の積立状況は年間約90万円、令和7年4月1日現在の積立累計額は先ほども申し上げましたが、約430万円とお聞きしております。

そのため、市民をはじめとする歩道利用者の安全・安心を守るためには、早期にアーケードの点検調査を実施し、その上でアーケードの改修を行うか、また、解体を行うか決定することが必要であることから、組合が早急に点検調査を実施できるよう、組合との協議に基づき、先ほど「3 組合に対する支援」で申し上げたとおり点検調査に係る補助額を10分の9以内の額としようとするものであります。

「5 アーケード点検調査後について」ですが、本調査では調査期間を最大7か月と見込んでおります。

市は、組合が調査結果に基づき、アーケードの改修または解体の方向性を決定し、その決定に沿って改修または解体することを申し入れしております。

なお、アーケードの改修または解体には多額の費用を要すると見込まれまして、組合の積立額が現時点において約430万円にとどまり、今後、組合員による多額の追加費用負担が必要と見込まれます。そのため、市による更なる補助が必要となるのではないかと見込まれます。

また、アーケードを解体した場合には、市の負担として市道の一部である歩道の改修費用の拠出が必要となる可能性も高いと見込んでおります。

参考までに、現段階での市内事業者による解体費用の見積もりにつきましては、目視で分かり得る範囲内で税抜き6千万円程と伺っておりますが、あくまでも参考的にお聞きしたものでありますことから、資料には金額を記載しておりません。

この解体に要する見積りにつきましては、柱の埋設深が、現状不明な状況であり、あくまでも地表面から柱を切断して撤去し、地中に柱の基礎部分を残すという内容であり、地中の基礎部分まで撤去する場合には、別途費用が掛かることが見込まれます。

なお、柱の埋設深につきましては、今回の点検調査による調査項目となっております。さらに、組合がアーケードを解体撤去することとした場合、歩道の雪かき・除雪が必要となりますが、現状の、タイルをはったようなインターロッキングでは雪かき・除雪の支障となることから、歩道部分をアスファルト舗装に改修する必要があるものと見込んでおり、市建設部道路課の本年1月時点での見立てでは、先ほど申し上げた歩道の改修費用には概算で2億2千万円程要するのではないかとのことです。

また、組合がアーケードを維持していく場合、今回の点検結果を踏まえ、適切な改修を行うこととなりますが、その費用につきましては、今回の点検結果によりどのような改修・補修が必要となるかを別途判断する必要がありますことから、現時点においてその費用は申し上げられないという部分でございます。

以上で説明を終わります。

(岩間総合政策部長)

それではこのことにつきまして、皆様の方からご質問、ご確認したいこと等ございましたら、挙手のうえ、発言をお願いいたします。

(岩間総合政策部長)

伊藤盛幸議員

(伊藤盛幸議員)

何点か質問いたしますが、一問一答でお願いします。

まず、この上町商店街の、このアーケードですけれど市がどのように考えているのかをお尋ねいたします。

背景にはですね、花巻の1つの顔だということもあるのではないかなということからお尋ねをします。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。まず、大前提として、このアーケードは市道を占有している組合所有の物件である構造物であるということがございます。ですので、組合員の方々が適切に維持管理していく必要があるものと考えてございまして、その部分に対しまして今後どのようなことができるのかということをお聞きするのが1番ではないかなと思っております。

もちろん、アーケードはお祭りの時とか様々なイベントで市民の方々が利用しているものですが、維持管理できないという場合については、その部分について組合の所有ということですので致し方ない部分も出てくるのではないかなというふう考えてございます。

(伊藤盛幸議員)

それではですね、この上町商店街振興組合と言いますか、上町の皆さんはこのアーケードについて残したいのか、あるいは維持が難しいので解体してもいいと思っているのが、その結論はないんでしょうか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。組合員の方々とお話はしておりますが、一体いくらかかっていくのかということが分からない状態では決めかねるという部分が組合の考えだと思っております。

ただ、今現在の商店街の状況を見て、今後、永続的に維持していくのは難しいのではないかなという意見も出てございます。

(岩間総合政策部長)

伊藤盛幸議員

(伊藤盛幸議員)

やっぱりそうなるとですね、その商店街の持ち物をね、商店街に任せっきりでいいのか、花巻市としてのまちづくりの観点から、ここには今のアーケードを存続させた方がいいのか、あるいはなくてもいいのかという部分は、極めて公共的な意味合いの高い案件だと思いますのでね、その部分をしっかり煮詰めてから進めるべきかな、と思います。

ですから、このように点検、調査を実施した上で、どうするかという判断よりも、残すのか、撤去するのかという部分を、地元の皆さんと、それから花巻市としてのまちづくりの観点から十分話し合いをして、そして、撤去なら撤去という結論のもとに進めるか、改修していくんだと存続させていくんだというのであれば、その調査設計費を見込んで、廃止の部分に進めていくべきではないかと思いますが、いかがでしょうか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。組合の所有物でございます。組合員の方々がご判断できる状況に今ないという部分でございます。改修して維持し続けると一体それがいくらかかるのかという部分が、全く今見えない状況でございますので、そこをまず明らかにしないといけないという現状でございます。

(伊藤盛幸議員)

どうも市の考えが見えない。そして、例えば商店街もですね、後継者不足とか今後の部分を考えた際には、やっぱりこれ難しいだろうというふうになりませんか。そしたら、やっぱりこれ廃止しましょうと、そういうふうになりませんか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。今現在、商店街組合で解体しようと一本化している、というふうには認識してございません。

(伊藤盛幸議員)

何回もすみません。市は、もう地元にもう預けっぱなしで、その結果だけでいいと、花巻市の顔だという、まちづくり的な面から見たそういう事は全くなくて、地元が考えたら全部地元主導でいいよという、そういう判断ということでございますか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。このアーケードを作るときには、上町の商店街の方々が、一生懸命企画して、県の道路の電線地中化などとスケジュールを合わせながら作ったアーケードというふうにお伺いしております。その点につきましては、まちの顔という部分はあるのかもしれませんが、いずれにしても、どのような状況に今あるのかという部分が分からない限り、それ以上の話はできないという状況でございます。

(岩間総合政策部長)

その他、ございますでしょうか。

似内一弘議員

(似内一弘議員)

はい。1点確認をさせていただきたいと思います。冒頭、商工観光部長の方から臨時議会のようなものも視野に入れているというお話がありましたが、6月定例会もあるわけですから、これを早急に対策というか、やらなければならない理由についてお伺いをいたします。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。この資料の1ページの下のところに書いてございますが、早く補正予算を組ませていただいて、組合が契約することによりまして、お盆期間前に簡易レポート、最終的なものは、資料にも書いてございますが、第三者機関とかそういうところの判断をいただいた最終的な報告書をいただきますけれども、お盆期間前に簡易レポートが出すことができる。これはやっぱりコンサルトさんが今の時期なので、まだ公共の発注が多くない今の状況であれば、まず人手を確保できるという部分もございまして、例えば今回の議案審議は6月10日の予定とお聞きしておりましたが、この10日間あるいは10何日間、これがずれ込むことによって、8月にお盆期間がございまして、その期間の前にこの簡易レポート出せるか、その後になってしまうのかという、ここでも1週間2週間また違ってくるということでございます。

道路管理者からは、この吊り下げ看板が1番見た感じ怖いよねということを聞いてございます。この吊り下げ看板、組合では撤去ということも検討しているのですが、これが今組合の総意とはなっておりません。お盆の前にこの簡易レポートが出ることによって、例えばこの吊り下げ看板は危ないです、全部じゃないかもしれませんが、ここここここは危ないというか、そういうものが簡易レポートに出てくる可能性があります。そうした場合には、例えばそこは早くやっただくというような判断にもなるというふうに考え

てございます。

(似内一弘議員)

そうしますと、例えば花巻まつり前に、その危険な吊り下げ看板を撤去するというような意図もあったりされるのでしょうか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。花巻まつりに限ったことではございませんけれども、この歩道の上空にあるものですから、常時通行されているものでございますので、一刻も早くその部分については分かりたいという事がございます。

(岩間総合政策部長)

その他、ございますでしょうか。

阿部一男議員

(阿部一男議員)

上町のこのアーケードの関係ですけれども、例えば吹張町などでも同じようなですね、状況にあると思うのですが、そここのところの分析はどうなんでしょうか。一体的にこう考えていくか、上町だけのものじゃなくて全体として考えていくっていうことについてはどのようにお考えでしょうか。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。市内には、アーケードは、上町と今おっしゃいました吹張町の2か所がございます。吹張町の方は、上町とは違って高さは少し低いものでございますが、吹張町のアーケードにつきましては、コロナ前まで柱の塗装というのは何回か実施してございます。上町は1回もしたことがなかったということで、構造物の分かる方々、建設部の方々などにもお聞きすると、まずこの塗装をちゃんとやって錆びさせないというのが1番だというふうにお聞きしております。その部分については、吹張町は少しずつではあるのですが、やっているというふうに思っていますが、同じ道路占用物件でございますが、道路は信金さんから中央橋に上がる場所は市の道路、市道です。その交差点からやぶ屋の方に向かう道路は県の道路でございます。それぞれに占用をしている物件でございますので、道路管理者などにも目視による点検などをお願い、もちろん道路管理者が独自にやっているというふうに思っております。

(岩間総合政策部長)

阿部一男議員

(阿部一男議員)

心配なのは、塗装とかそういう事が終わったということで片付けるのではなくて、全体が、なんて言うのですか、やはりこれからのまちづくりっていうことを考えてみた場合に、それが出てくると思うんですね。そういうことも含めて今回対応していく必要があるのではないかなと思うのですけれども、その辺について、再度お聞きします。

(伊藤商工観光部長)

はい。まちづくりという観点、アーケードがなければまちではないのかという、また違う部分があると思います。ただし、大前提は所有者が花巻市ではなく商店街さんだという部分があるというふうに考えてございます。どのようにしていくかにつきましては、当然、商店街組合さんとも今後話をしていきたいというふうに考えてございます。

(岩間総合政策部長)

よろしいでしょうか。その他、ございますでしょうか。

はい、盛岡耕市議員

(盛岡耕市議員)

何年前か、一日市商店街のアーケードが全部撤去されました。原因は何かと言いますと組合員数の数が減ったってことですね。商店街がもちろん衰退した点もございすけれども、組合員、組合員数が減ったってことです。今、この上町商店街の組合員数の数は、できた当時と比べまして、どの程度、減少しているのでしょうか。それをお聞きたい。

(岩間総合政策部長)

似内商工労政課課長

(似内商工労政課長)

はい。お答えいたします。平成10年3月末、アーケードができるころが54の組合員数で、令和6年8月末現在で27に減少しております。

(盛岡耕市議員)

そういたしますと、当然、この組合員が減ったということは、当然集まってくるお金も少ない、普段のその維持管理が難しくなってきたことが大事であり、自分たちでももうどうしようもない、今現在そういう状態になっているのだと思います。それも含めて、先ほど言いました、まちの顔にするのか、それとも組合員でそれを任せるのか、やはりこれはどっちかはっきりさせないと、もう維持管理がもうできていかない状況にあるのではないのでしょうか。お聞きします。

(岩間総合政策部長)

伊藤商工観光部長

(伊藤商工観光部長)

はい。その点につきましても、先ほどありましたが、年間の積み立てが90万円程度ということでございます。今後、この90万円、あるいはこれがもっと減っていくかもしれないという中で、維持していくかどうかということが1番のポイントになっていくのかなというふうに、その通り考えております。

(岩間総合政策部長)

はい。その他ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。はい。それでは、本日予定しておりました説明事案につきまして、以上で終了をさせていただきます。ありがとうございました。